

令和3年度 法人事業計画

【目的】

2025年にはいわゆる団塊の世代が75歳を迎え、4人に1人が後期高齢者社会を迎えることとなり、介護ニーズも増大することが想定される中で住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・介護予防・住まい及び生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を推進していくことが必要とされ、その機能を着実にやっていく観点から介護サービスに求められる機能を強化するほか、在宅におけるケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保や、今後増加する認知症の人への対応と地域で支え合いながら安心して生活でき、高齢者が自らの意思で自分らしく生きることを実現できるために、地域の多様な主体による活動など、専門的な要素により有機的に連携が図れるための取り組みを推進することが求められるほか、介護に関わる人材は必要不可欠な社会資源であることから、人材確保は最重要課題と言える。この課題に対応するため、サービスの質や働き方改革との関係を留意しつつ、外国人介護人材受け入れのシステム活用し、専門性に応じた人材の活用やロボット技術、ICTの活用等の効率化を推進することを目的として掲げる。

《法人事業方針》

2つの柱を主体とした方針は、つぎのとおりとする。

[法人経営基盤の強化]

- ①事業収支の安定化
- ②法令順守
- ③リスクマネジメント（事故・感染症、災害等）
- ④外国人等を含む人材確保と育成
- ⑤ロボット技術及びICT活用の推進
- ⑥建物・設備修繕等に備えた積立金の確保

[事業展開の検討・準備]

- 生活困窮者に対する相談支援事業の実践
- その他社会資源に必要とする事業の検討
- 社会福祉充実計画の検討

《理事会開催予定》

理事会開催予定及びそれに係る予算額は、つぎのとおりとする。

2021年 5月	決算理事会
2021年 6月	役員改選理事会
2021年11月	補正予算理事会
2022年 3月	予算理事会

事業項目	要求予算額
理事会開催費用	164,912円
懇親会開催費用	371,800円
優良職員等・業者招待	125,000円
予算合計	661,712円

《監事会開催予定》

決算監査会開催予定及び予算額は、つぎのとおりとする。

2021年 5月 決算監事監査及び監事会

2021年 6月 役員改選及び定期評議員会

※年度途中に臨時理事会を開催する場合がある。

事業項目	度要求予算額
監事監査会開催費用	103,070円

《定期評議員会開催予定》

定期評議員会開催予定及び予算額は、つぎのとおりとする。

2021年 6月 定期評議員会

※年度途中に臨時評議員会を開催する場合がある。

事業項目	度要求予算額
定期評議員会等開催費用	72,149円

《第三者委員会開催予定》

第三者委員会開催予定及び予算額は、つぎのとおりとする。

2021年6月、9月、12月、2022年3月

事業項目	要求予算額
第三者委員会開催費用	64,080円

《評議員選任・解任委員会開催予定》

評議員選任・解任委員会の予算は、つぎのとおりとする。

事業項目	要求予算額
評議員選任・解任委員開催費用	25,280円

《内部留保金計画》

内部留保に係る積立金は、つぎのとおりに積算する。

積立金内訳	予算見積額
人件費積立金	0円
施設整備等積立金	0円
予算見積合計	0円

《償還金計画》

償還金計画及び償還金補助金・利子補給並びに長期運営費借入金に予算額は、つぎのとおりとする。

借入先	償還金補助交付先	補助金	負担金額
独立行政法人福祉医療機構	横浜市	17,872,500円	5,957,500円
横浜市社会福祉協議会	横浜市	1,800,000円	600,000円
横浜市社会福祉協議会(利子補給)	横浜市	536,175円	0円
独立行政法人福祉医療機構	独立行政法人福祉医療機構	0円	1,857,000円
返済金予算額合計		20,208,675円	8,414,500円

《経営財務報告書》

理事長と施設長間において、前年度及び累計並びに今後の推移数値等を「経営財務報告書」資料に基づき協議を行っている。

貸借対照表	施設全体予算統制表
稼働率実績表	職種別人員配置状況
運営資金繰り表	加算算定状況確認表
キャッシュフロー計算書	新規入所所要日数表
経営分析表	事業・資金収支別収益実績表
施設内事故件数表	水道光熱費消費量・支出金額表

《安定的財務状況の確立》

安定的財務状況を構築するには、適正な収益の確保と資金の効果的運用が求められている。この課題を遂行するには、①収益計画 ②短期的（一ヶ年）資金計画が必要である。また活動資金使途別の財務管理システムの重要性が求められる。このことは、年度予算統制表（法人・施設・各担当職種別）に基づく収入・支出の適切な管理と費用対効果性による無駄の排除及び年間資金繰り表による概算収益の推算による事業活動の抑揚策に活用するものである。また預金管理においては、現預金日計表を基礎資料として、事業使途目的別に①運営資金 ②各種積立金 ③償還金・期末手当・特別手当（介護職員処遇改善）準備金として別口座管理を図るものである。これにより、運営資金口座が一定の預金高（概ね月次事業運営資金に関わる1.5ヶ月分の預金高を超えた場合）に達した場合は、②の口座に預替し、内部留保金の拡大を図るとともに、当該年度に則した一定額（毎月の定額預金）を償還金財源、期末手当財源、特別手当財源とした安定確保を図るものである。

《法人・施設行事計画》

ご家族並びにご利用される方々が古くからの慣わしを忘れることなく感じるよう様々な行事を遂行し、法人主催によるご利用者・ご家族・地域との交流の場を開催する。また近隣社会福祉関係者と交流を図り、実行したいと考えている。これに要する予算は、つぎのとおりとする。

事業項目	行事内容	支出予算額
お花見会&交流会	ご利用者と富士見丘学園中等教育学校の桜を觀賞し、生徒と交流を図る	30,000円
菖蒲湯	菖蒲の香りを楽しみながら邪気を払います	0円
端午の節句	兜を飾り、男子の健やかな成長を祈願します	0円
父・母の日	男・女性にプレゼントを渡し、感謝します	40,000円
七夕	竹飾りを作り、願いを込めて短冊を飾ります	0円
長寿のお祝い	節目の方をご家族と共にお祝いする会 職員の踊りや花火で祝福します。	300,000円
遠足	ズーラシア動物園への遠足（春・秋予定）	10,000円
お楽しみ会	職員余興とサンタによるプレゼントを贈呈	180,000円
柚子湯	冬至に柚子を入れてお風呂を楽しみます	0円
年越し蕎麦	大晦日に縁起を担いで蕎麦を食べます	0円
新年祝賀会	元旦に新年のご挨拶をし、祝賀会食を召上ります	50,000円
初詣	旭鎮守 八幡神社へお参りに行きます。	0円
節分	節分に鬼払いをします	10,000円
雛祭	雛人形を飾り、女子の健やかな成長を祈願します	0円
合 計		620,000円

その他、地域で活動している団体による慰問を多く取り入れて、楽しんで頂く予定です。

《生計困難者に対する相談支援事業 事業計画》

1 はじめに

本会は、第二種社会福祉事業「生計困難者に対する相談支援事業」を実施する。

この事業は、社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に図り、また必要な制度、サービスにつなぐこととする。そして、生活保護等の既存制度では即応できない方がいる場合、その費用等の全部または一部を現物により支援する経済的援助を行う。

2 コミュニティソーシャルワーカーの配置並びに総合生活相談活動

かながわライフサポート事業を実施するために、本会にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域で生活課題を抱える方の相談が起こった際に対応し、課題の解決に努める。

3 経済的援助

援助を必要とする方からの相談を重ねる中で、経済的援助の必要性を判断したコミュニティソーシャルワーカーは、相談内容に関する資料を作成し、施設長に報告するものとする。施設長は、コミュニティソーシャルワーカーからの報告に基づき、経済的援助の可否を決定する。

4 研修会への参加

コミュニティソーシャルワーカーは、相談援助技術の向上を目的に、各種研修会に参加する。

- ①コミュニティソーシャルワーカー養成研修会
- ②コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修会
- ③相談援助技術研修会（事例検討会）

施設の部

《施設理念》

「和顔愛語」

(わけんあいご)

和やかで温かな顔つきや言葉つき。穏やかで、親しみやすい振る舞いのこと。

「五倫五常」

(ごりんごじょう) 人として常に踏み守るべき道德のこと。(仁・義・礼・智・信)

「下学上達」

(かがくじょうたつ) 手近なところから学び始めて、次第に進歩向上してゆくこと。

《施設事業方針》

[施設理念に基づくサービスの質の管理]

[各種法令及び運営基準等の遵守状況の確認と外国人等を含む人材育成]

[事故・感染症・苦情等に対するリスク回避のための研修]

[研修計画の作成、各種研修への参加とフィードバックによる共有]

[多職種及び職員間の ICT 情報共有・連携の強化]

《職種等別事業方針及び事業計画に基づく要求予算》

各職種等がより良い事業を展開するには、その事業に係る予算化が必要不可欠である。予算執行にあたっては各職種の持つコスト意識の巧拙が、法人の収益に確実に直結することを喚起するものであり、常に費用対効果を意識し、場合によっては仕入れの見直しや再交渉などといった日常的な物品購入及び修繕等取引において質の担保とコスト削減を図りながら廉価なものへの転換を図ることも検討行っていくものである。尚、各職種の方針及び事業計画に基づき、次の予算を付帯する。また、不測事態等の対応に係る予算を施設長所管として予備費として計上する。

職種担当	事業目的	要求予算額
施設長	不測事態等対応予算	1,000,000円
事務員	施設整備・職員研修等事業	85,132,943円
事務員	総務・庶務等事業	
介護支援専門員	短期・本入所・ケアプラン等事業	80,000円
生活相談員	家族・利用者処遇等事業	221,000円
機能訓練指導員	利用者リハビリ事業	65,000円
管理栄養士	栄養・給食・委託会社管理等事業	58,866,000円
看護職員	利用者健康管理等事業	3,538,000円
介護職員	利用者援助等事業	15,371,616円
ユニット	教養娯楽等事業	90,000円

《各委員会活動》

部門別運営体制を組織化し、運営上の諸問題及び課題等の解決に向けた委員会制度は、施設運営上にとって必要不可欠である。このことにより各委員会活動及び予算額は、次のとおりとする。

委員会名	要求予算額
感染症・褥瘡予防委員会	1,779,200円
事故対策委員会	60,000円
防災対策委員会	40,000円
教養娯楽委員会	640,000円
身体拘束廃止委員会	20,000円
要求予算額合計	2,539,200円

《職員体制》

職種別職員編成を、次のとおり正職員47名、パートタイマー職員等常勤換算13.9名の定員とする。

職種名	予定人員	職種名	予定人員	職種名	予定人員
施設長	1名	介護職員	33名	内科嘱託医師	1名
介護支援専門員	1名	介護パート職員	2名	精神科嘱託医師	1名
CM兼SW	1名	介護補助職員	1名	理学療法士	1名
機能訓練指導員	1名	派遣職員	0名	入浴誘導等パート	2名
管理栄養士	1名	看護職員	5名	送迎等パート職員	1名
事務員兼SW	1名	看護パート	2名	洗濯要員	3名
嘱託事務員	1名	居宅管理者	1名	清掃要員	3名

※事業及び予算執行状況により、職員人員の編成見直しを図る場合がある。

《給 与》

職種別職員編成に基づき、次のとおり人件費予算を計上する。

人 件 費 項 目	要 求 予 算 額
職 員 俸 給	119,676,000円
職 員 諸 手 当	40,847,400円
夏・冬期末勤勉等手当	59,352,080円
非 常 勤 職 員 給 与	32,146,200円
派 遣 職 員 給 与	0円
退 職 給 付	3,223,500円
社 会 保 険 料 等 施 設 負 担 金	38,517,951円
要 求 予 算 合 計	29,763,131円

※職員の変動及び稼働率の低下による人件費増減額の場合がある。

《稼働率》

稼働率の変動は、法人の経営に大きな影響を与える財源の基幹であり、包括的出来高制の基での利用実績により収入が大きく変動するものである。旭区は福祉施設が充実している地域であり、令和1年度の平均稼働率は94.5%であり、上昇している状況である。現在は従来型特養10ヶ所（841床）、新型特養9ヶ所（890床）、老健施設11ヶ所（1289床）、介護付（住宅型）有料老人ホーム16ヶ所（1603床）、グループホーム27ヶ所（486床）、ケアハウス2ヶ所（90床）、軽費老人ホーム1ヶ所（50床）の合計5,102床のベッドが整備されている。また短期入所生活介護事業では29ヶ所開設しており、209床のベッドが整備されている状況である。全職員が1%の稼働率向上に向けて運営努力の所因がそこに存在する。R3年度稼働率を本入所90.

1%、短期入所68.5%とし、居宅介護支援事業登録目標件数15名に定め、この稼働率を下限と設定して取り組む次第であります。

事 業 内 訳	要 求 予 算 額
施設介護料（介護報酬収入）	296,118,447円
（利用者負担金収入）	29,641,483円
居宅介護料（介護報酬収入）	21,337,719円
居宅介護料（利用者負担金収入）	2,119,091円
居 宅 介 護 支 援 介 護 料	2,119,091円
施設サービス利用料収入	540,000円

居宅介護サービス利用料	6,006円
食費収入	57,106,038円
居住費収入	34,358,297円
その他の事業収入	1,020,000円
収入予算合計	444,691,890円

《運営事業報告書の活用》

施設運営を円滑に遂行するには、その事業に係る数値分析によって抑揚度合いを図るものである。また、施設運営の要である各職責職員への現状運営・経営参画意識の一環として位置付けている。尚、第4水曜日に開催される各職責者による「運営会議」において、次の資料により解析・検討するものである。

貸借対照表	職種別人員配置状況
稼働率実績表	加算算定状況確認表
経営分析表	新規入所所要日数表
施設内事故件数表	水道光熱費消費量・支出金額表

《職員教育研修》

事業方針に掲げている、職員のキャリアアップ等を期待して職員研修予算を、次のとおりに付帯する。尚、職員研修・各種研修体系の見直しを図るとともに、全職員に対するサービス意識の向上、利用者満足度の追及、利用者処遇等に対する教育実践を併せて行うものとする。

研修種類	要求予算額
外部講師研修	1,300,000円
外部研修	240,000円
施設内外自主研修	200,000円
要求予算合計	1,740,000円

《組織力向上取組事業》

職員の組織力向上取組事業について、主たる職員の意見を聴取し、限られた予算の範囲内において、短・中期的展望の基で段階的に労働環境の整備・改善等を図り、職場雰囲気改善に向けて検討、論議していくものである。※研修成果実現予算

事業名	要求予算額
組織力向上取組事業	500,000円

《福利厚生事業》

福利厚生事業について、職員の健康・教養・娯楽等といった心身のリフレッシュを目的として推進するが、これは職員間のコミュニケーションの向上、組織の活性化、離職の防止といった観点からも重要なことである。限られた予算枠の中においても、環境整備事業と同様に福利厚生事業においても、その職員参加への充実と進捗を図ることが必要不可欠であると考えている。

福利厚生事業	要求予算額
福利厚生規程に基づく各種事業	500,000円
忘年会補助	540,000円
職員健康診断	966,000円
四種混合インフルエンザ補助	130,000円
職員制服支給	735,000円

お年賀支給	105,000円
お年玉支給	147,000円
要求予算合計	3,123,000円

《技能実習生受入》

介護職員不足を補うために外国人の技能実習生を受け入れる費用を予算化する。

事業名	要求予算額
在留資格証明等諸費用	1,000,000円
日常生活用品等	600,000円
要求予算合計	1,600,000円

《厨房安全衛生》

給食委託会社ヘルスケアサービス（旧グリーンハウス）による安全衛生強化重点事項は、つぎのとおりとする。

1. 重点事項

- ①HACCP帳票類記録の徹底
- ②二次汚染防止の徹底
 - 区分表示と使用の徹底
対象：まな板、包丁、束子、容器、箆、シンク、布巾
 - 全手洗い場の設備と手洗い状況の確認
- ③食材管理の徹底
 - 開封後食材、許容時間の厳守（マニュアル食20参照：保管状況、冷凍品は指導）開封後のパルメザンチーズの保管は冷凍管理する。
 - 賞味期限切れ商品の使用禁止（厨房内、倉庫、冷蔵庫）
 - 提供後の食材の使い回し禁止
 - ミキサー食の主菜をソフト食形態に進化させ、更なる食事への楽しみを提供する

2. 指導項目

- ①ドライ化の推進
 - 床が濡れている状況は、跳ね水が食品にかかって二次汚染の原因になると同時に職員の健康、及び湿度上昇による細菌繁殖の原因となる。

3. 菌検査実施項目

- ①フードスタンプによる実施項目
 - 厨房全職員手指（洗浄・消毒後）
 - 調理済み用まな板
 - 調理済み用包丁
- ②洗浄度チェック
 - 茶碗によるヨード反応
- ③実態調査
 - トイレのドアノブのフードスタンプ
 - 期限切れ食材（厨房・冷蔵庫内・倉庫）
 - 個人衛生チェック表の精度アップ・不徹底事項